# 平成29年度 教育委員会の事務に関する 点検・評価報告書

平成30年11月

玉野市教育委員会

#### 目 次

基本方針	1
平成29年度 重点施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
玉野市教育委員会の機構及び事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
平成29年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	4
(2) 平成29年度教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(3) 教育委員会議決案件·····	5
(4) 教育委員懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(5) 教育委員学校等視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(6) その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
教育費決算額	9
平成29年度主要推進事業に関する自己評価	
事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実	14
Ⅱ. 心豊でたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進・・・・・	21
Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
学識経験者による意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47

#### 【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### 平成29年度 基本方針

今日、市民は、学習活動や文化・スポーツ活動、ボランティア活動等への参加 を通じて、心身ともに健やかで、生きがいと喜びに満ちた豊かな人生の実現を目 指しています。

このような市民の願いを受け、玉野市教育委員会は、「みんなで築くたまのプラン(玉野市総合計画)」に基づいて、市民参加による施策づくりを推進し、人間尊重の精神を基調にした生涯学習社会の実現を目指します。

豊かな心と確かな学力を身につけ、自分の夢の実現に向かって歩む子どもを育成するため、学校教育においては、キャリア教育と学力向上を柱とする中学校区一貫教育を推進します。自ら挑戦する意欲や社会性・創造性を伸ばすとともに、正義感や倫理観、思いやりの心や地元玉野を愛する心を育みます。

また、教職員の資質能力の向上を図るとともに、特別支援教育等の教育支援体制の充実による子どもたちの健全育成や授業の質の向上等を推進します。さらに、子どもたちの学習意欲を高め、アクティブラーニング等の指導内容の工夫改善により、自ら学び考える力を伸ばし、学力向上に努めます。

さらに、各種施設の整備、教育環境充実に努めるとともに、各校・園は、主体的な学校園経営を行い、家庭や地域と協力・連携して、子どもの安全確保や食育・体力向上などの取組を進め、地域に開かれた魅力と特色ある「信頼される学校園づくり」を推進します。

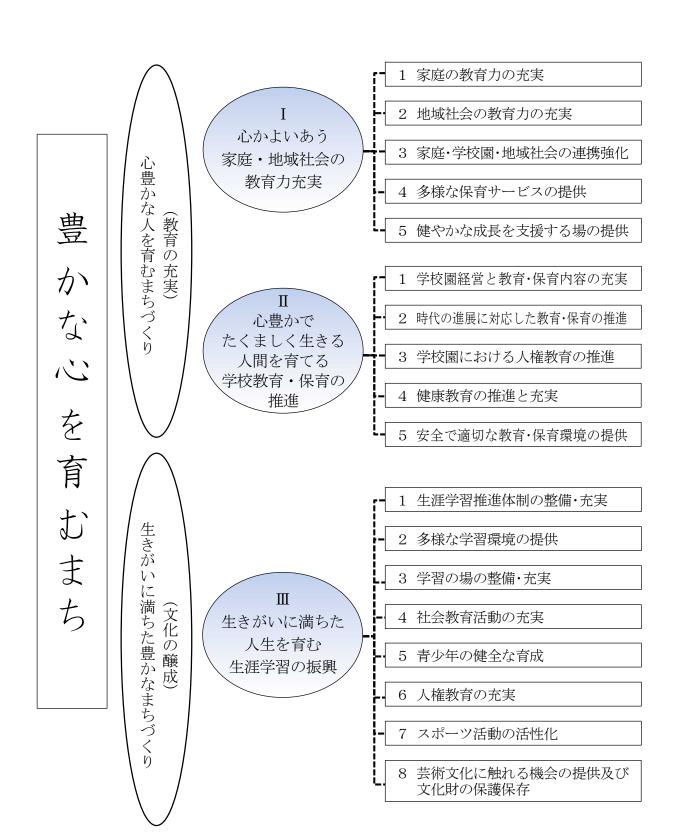
社会教育においては、市民の生きがいのある生活づくりや健康づくりを推進するため、地域住民等の意向を反映させながら、関係団体とも連携して、生涯学習の場と機会の提供を充実させ、芸術・文化、スポーツの振興を図ります。

また、子育てに関する学習の機会を提供する等、家庭教育を支援する環境整備に努めます。

さらに、地域の教育力を高め、地域の活性化や世代間交流を図る活動を推進しながら、学校・家庭・地域が相互に協力し、地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育む支援体制の充実に努めます。

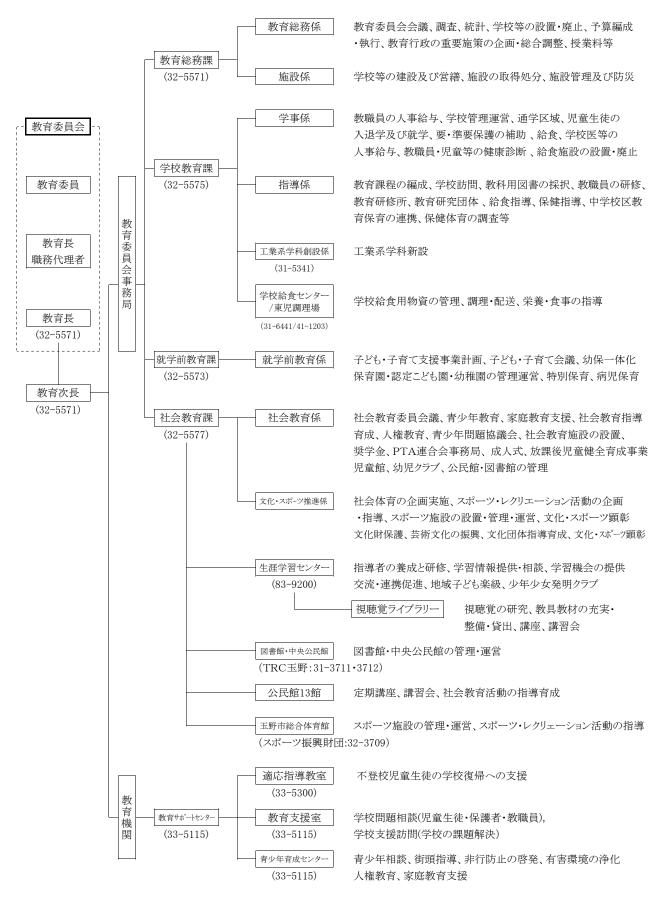
諸施策の実施に当たっては、教育委員会が積極的に情報を発信し、関係諸機関や教育関係団体との連携のもと、広く市民の理解と協力を得ながら、心豊かな人づくりと、生きがいに満ちたまちづくりに取り組みます。

# 平成29年度 重点施策の体系



#### 玉野市教育委員会の機構及び事務分掌

[平成30年3月31日現在]



#### 平成29年度教育委員会の活動状況

#### (1)教育委員(平成30年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	就任年月日	現 任 期
教 育 長	<sup>いしかわ まさふみ</sup> 石川 雅史	平成 29 年 4 月 1 日 1 期目	平成 29 年 4 月 1 日 ~平成 31 年 9 月 30 日
教育長職務代理者	近藤寿子	平成 27 年 10 月 2 日 1 期目	平成 27 年 10 月 2 日 ~平成 31 年 3 月 31 日
委員	のだ ょうじ 野田 洋二	平成23年6月27日 2期目	平成 27 年 6 月 27 日 ~平成 30 年 3 月 31 日
委員	かわぐち まさゆき 川口 雅之	平成 26 年 4 月 1 日 1 期目	平成 26 年 4 月 1 日 ~平成 30 年 3 月 31 日
委員	おおかわ よしお 大川 佳郎	平成 28 年 10 月 1 日 1 期目	平成 28 年 10 月 1 日 ~平成 32 年 3 月 31 日

## (2) 教育委員会 会議開催状況 ( ) は秘密会

開催日	教育長報告	議事	協議	その他	開催日	教育長報告	議事	協議	その他
4/ 5	2			1	9/26	1		1	2
4/21		2	1	2	10/24	1			4
5/ 9		3	1		11/ 7		1	1	2
(5/9)		1			11/21	1	1	2	5
5/23		3	1	5	12/26	1	1	1	5
6/27	1	5	1	8	1/19		3	2	2
7/11				4	2/13	1			8
7/25	1	2		3	2/27		2		2
(7/25)		1			3/27	1	7		6
8/18		1		1					

計	教育長報告	議事	協議	その他
17 回	10	33	11	60

#### (3) 議決案件

No.	月日	議 決 事 項
1	4月21日	玉野市立図書館協議会委員の任命について
2	IJ	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について
3	5月 9日	玉野市立学校給食センターに勤務する技能労務職の職員の就業規則の一部 改正について
4	IJ	玉野市立学校職員服務規程の一部改正について
5	IJ	平成30年度使用小学校教科用図書採択について(秘密会)
6	IJ	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について
7	5月23日	玉野市立学校に関する条例の一部改正について
8	IJ	玉野市体育施設条例の一部改正について
9	JJ	玉野市奨学生選考委員の委嘱について
10	6月27日	玉野市文化・スポーツ顕彰選考委員の委嘱について
11	"	平成29年度玉野市奨学生選考委員会の選考結果について
12	IJ	玉野市社会教育委員の委嘱について
13	IJ	玉野市立玉野商業高等学校学則の一部改正について
14	IJ	玉野市立玉野備南高等学校学則の一部改正について
15	7月25日	玉野市文化財保護委員の委嘱について
16	IJ	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
17	IJ	平成30年度使用小学校教科用図書採択について(秘密会)
18	8月18日	玉野市認定こども園に関する条例の一部改正について
19	11月7日	玉野市文化会館条例施行規則の廃止について
20	11月21日	玉野市立体育施設の指定管理者の指定について
21	12月26日	玉野市指定重要文化財の指定に係る諮問について
22	1月19日	玉野市立学校に勤務する県費負担教職員及び玉野商業高等学校教職員の人 事評価制度に係る苦情相談及び苦情処理に関する要綱の一部改正について
23	"	玉野市立学校授業料等徴収条例の一部改正について
24	IJ	玉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を 定める条例の一部改正について
25	2月27日	玉野市就学援助規則の一部改正について
26	IJ	玉野市指定重要文化財の指定について

No.	月日	議 決 事 項
27	3月27日	玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則等の一部改正について
28	IJ	玉野市教育委員会職員再任用事務取扱要綱の一部改正について
29	JJ	玉野市学校運営協議会に関する規則の制定について
30	IJ	玉野市費負担教員の任用等に関する規則の一部改正について
31	"	玉野市立学校教員服務規程の一部改正について
32	IJ	玉野市幼稚園教員採用試験委員会規程の全部改正について
33	IJ	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について

#### (4) 教育委員懇談会

平成29年度共通テーマ:「『たくましく まなんで のびる たまのっ子』を育むために」

口	月日	テーマ	参加者	人数
1	6月27日	特別支援教育の現状と課題について	特別支援教諭等	5
2	10月24日	玉野市立図書館・中央公民館の現状と 課題について	玉野市立図書館長等	3
3	2月26日	今後の学校運営のあり方について	市立小学校·高等学校教頭	4

#### (5) 学校等視察

#### 《視察方法》

- ① 新任校長園長の学校園及び特別の事情のある施設は全員で視察する。 (10 施設)
- ② 上記以外の施設は2班に分かれて視察する。 (36 施設)

■9月26日(全員)	(1班)	(2班)
	宇野幼稚園	田井幼稚園
	和田幼稚園	
	玉原幼稚園	紅陽台ちどり保育園
	玉原保育園	大崎小学校
	学校給食センター	大崎保育園
	玉小学校	サンマリン認定こども園
	二日比小学校	山田小学校
	宇野保育園	
■10月24日(全員)	(1班)	(2班)
宇野中学校	荘内小学校	八浜認定こども園
		八浜中学校
図書館・中央公民館		
■11月7日(全員)	(1班)	(2班)
田井保育園	東児中学校	槌ケ原ちどり保育園
玉認定こども園		八浜小学校
日比幼稚園		
日比小学校		
備南高校		
■11月21日(全員)	(1班)	(2班)
	宇野小学校	築港ちどり保育園
	渋川保育園	築港小学校
	日比中学校	田井小学校
	玉中学校	東児調理場
	和田保育園	胸上小学校
	玉原小学校	鉾立保育園
	荘内南幼稚園	鉾立小学校
■ 2月27日(全員)	(1班)	(2班)
山田中学校		
商業高校		
	•	

#### (6) その他の活動

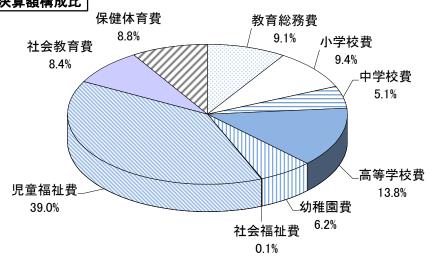
月日	内 容	場所
4月 5日	玉野市教育功労者感謝状贈呈式	玉野市役所
5月 9日	第1回総合教育会議	玉野市役所
6月 ~	子ども楽級前期視察(市内全14楽級)	市内一円
7月11日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会	倉敷アイビースクエア
7月25日	グロスターホームステイ壮行式	玉野市役所
8月18日	グロスターホームステイ報告会	玉野市役所
11月 3日	11月 3日 文化・スポーツ顕彰表彰式	
IJ	文化協会表彰式	中央公民館前特設会場
11月17日	玉野商業高等学校60周年記念式典	玉野商業高等学校
11月20日	教育委員県外先進地視察	西宮市
11月22日	小学校 教育研究発表会	後閑小学校
11月24日	中学校 教育研究発表会	東児小学校
12月 ~	子ども楽級後期視察(市内全14楽級)	市内一円
1月 7日	玉野市成人式	マリンホテル
1月19日	第2回総合教育会議	玉野市役所

#### 2 教育費・民生費(教育委員会所管分)決算額

#### (1)平成29年度決算額内訳

項	金額(千円)	前年度比(千円)	伸び率(%)
教育総務費	321, 621	4, 560	1. 4
小 学 校 費	330, 473	△ 190, 321	△ 36.5
中学校費	181, 143	△ 138, 313	△ 43.3
高等学校費	486, 505	49, 450	11. 3
幼 稚 園 費	220, 380	16, 550	8. 1
社会福祉費	3, 174	130	4. 3
児童福祉費	1, 378, 036	△ 18, 299	△ 1.3
社会教育費	297, 026	△ 496, 585	△ 62.6
保健体育費	312, 194	12, 722	4. 2
計	3, 530, 552	△ 760, 106	△ 17. 7

#### 平成29年度決算額構成比



#### (2)教育費決算額の推移

項	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教育総務費	270, 426	326, 504	280, 903	317, 061	321, 621
小 学 校 費	1, 278, 907	993, 775	828, 058	520, 794	330, 473
中学校費	163, 726	296, 596	571, 126	319, 456	181, 143
高等学校費	503, 188	776, 630	984, 436	437, 055	486, 505
幼 稚 園 費	205, 682	220, 396	217, 912	203, 830	220, 380
社会福祉費	(亚虎99年度	から教育委員会所	に答ハボジル)	3, 044	3, 174
児童福祉費	【平成20平度/	けり教育安貝云原	外官分が発生)	1, 396, 335	1, 378, 036
社会教育費	295, 569	321, 475	339, 807	793, 611	297, 026
保健体育費	339, 289	325, 808	311, 021	299, 472	312, 194
計	3, 056, 787	3, 261, 184	3, 533, 263	4, 290, 658	3, 530, 552

# 平成29年度主要推進事業に関する自己評価

「平成28年度玉野市教育行政重点施策」において掲げた主要推進事業への取り組み状況、達成度などについて、A、B、C、Dの四段階で自己評価を加えた。

#### 【評価基準】

- A·・・ 十分な成果があった
- B ・・・ 概ね満足な成果があった
- C ・・・ 成果がやや不十分であった
- D ・・・ 成果に不満が残った
- ・・・ 評価なし

## 平成29年度主要事業の点検・評価 事業一覧

#### I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実 【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

事 業 名	〈担当所属名〉	評価	ページ
地域子ども楽級推進事業	〈社会教育課〉	A	14
家庭教育支援事業	〈社会教育課〉	A	15
地域学校協働本部事業	〈社会教育課〉	В	15
玉野市子ども会連絡協議会研修事業	〈社会教育課〉	В	16
成人式開催事業	〈社会教育課〉	В	16
たまの地域人づくり大学	〈社会教育課〉	A	17
児童館管理運営事業	〈社会教育課〉	В	17
放課後児童クラブ管理運営事業	〈社会教育課〉	A	18

#### 【区分】多様な保育サービスの提供

病児保育事業の実施	〈就学前教育課〉	A	18
子育て支援情報の提供	〈就学前教育課〉	В	19
一時預かり(一般型及び幼稚園型)の実施	〈就学前教育課〉	Α	20

# Ⅱ. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進【区分】心と体の育成

スクールカウンセラー配置事業	〈学校教育課〉	A	21
スクールカウンセラー連絡協議会	〈学校教育課〉	А	21
こども未来づくりネットワーク連絡協議会	〈学校教育課〉	А	21
チャレンジワーク推進事業	〈学校教育課〉	А	22
生徒指導体制の充実	〈学校教育課〉	А	22
適応指導教室運営事業	〈学校教育課〉	А	22
教育支援室運営事業	〈学校教育課〉	А	23
教育サポートセンター機能強化調査研究事業	〈学校教育課〉	A	23
小学校不登校対策実践研究事業	〈学校教育課〉	A	23
夢を育む!たまのっ子育成事業	〈学校教育課〉	A	24
アレルギーメールマガジンの配信	〈学校給食センター〉	А	24
学校における食育の推進	〈学校教育課〉	В	24

#### 【区分】学力向上の推進

3 5 人学級実施事業	〈学校教育課〉	A	25
小学校 学力・人間力育成事業	〈学校教育課〉	A	25
中学校 学力・人間力育成事業	〈学校教育課〉	A	25

事 業 名	〈担当所属名〉	評価	ページ
グローバル人材育成事業	〈学校教育課〉	A	26
中学校基礎学力育成支援事業	〈学校教育課〉	A	26
たまのっ子算数プリント作成と活用	〈学校教育課〉	В	26
学力向上プラン作成と実践	〈学校教育課〉	В	27
小学校・中学校研究指定事業	〈学校教育課〉	A	27

#### 【区分】特別支援教育の充実

生活支援員配置事業	〈学校教育課〉	A	27
特別支援教育事業	〈学校教育課〉	В	28
特別支援教育ネットワーク連絡協議会	〈学校教育課〉	А	28
特別支援教育サポートチームの派遣	〈学校教育課〉	В	28
授業のユニバーサルデザインの推進	〈学校教育課〉	В	29
特別支援教育研究指定事業	〈学校教育課〉	В	29

#### 【区分】保育士・教員等の指導力向上

教育研修所事業	〈学校教育課〉	В	29	
保育協議会研修会の実施	〈就学前教育課〉	A	30	
各種研修会の実施	〈学校教育課〉	Α	30	

#### 【区分】教育環境の整備

学校事務の共同実施	〈学校教育課〉	A	31
中学校区一貫教育の充実	〈学校教育課〉	A	31
ものづくり人材育成事業	〈学校教育課〉	A	32
職員給与(ものづくり人材育成事業)	〈学校教育課〉	A	32

#### 【区分】安全・安心の確保

不審者情報メールマガジンの配信	〈学校教育課〉	_	33
地域パトロール隊	〈学校教育課〉	А	33

#### 【区分】環境教育の推進

環境教育推進事業	〈教育総務課·就学前教育課〉	В	33
----------	----------------	---	----

#### 【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

競技スポーツ振興事業	〈学校教育課〉	Α	34
玉野市立学校 文化・芸術活動等育成事業	〈学校教育課〉	A	34

#### 【区分】家庭・地域との連携

事 業 名	〈担当所属名〉	評価	ページ
教育委員懇談会	〈教育総務課〉	A	34
玉野商業高等学校 学校ボランティア活性化事業	〈学校教育課〉	A	35
園と家庭のかけはし事業	〈就学前教育課〉	A	35
土曜授業の実施	〈学校教育課〉	A	35

### Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

#### 【区分】生涯学習の推進

生涯学習人材バンク	〈社会教育課〉	В	36
生涯学習施策推進事業	〈社会教育課〉	В	36
まちづくり出前講座	〈社会教育課〉	А	36

#### 【区分】人権教育の推進

人権教育推進事業	〈社会教育課〉	В	37	
----------	---------	---	----	--

#### 【区分】青少年健全育成活動の推進

補導活動の推進	〈社会教育課〉	A	38
広報啓発活動と関係機関との連携	〈社会教育課〉	В	38
環境浄化活動	〈社会教育課〉	В	39
不審者対策	〈社会教育課〉	В	39

#### 【区分】スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブ育成事業	〈社会教育課〉	В	40
スポーツ指導者研修会開催事業	〈社会教育課〉	В	40
競技スポーツ推進事業	〈社会教育課〉	В	40
トップアスリート招へい事業	〈社会教育課〉	В	41
スポーツ施策推進事業	〈社会教育課〉	А	41

#### 【区分】地域文化の振興

玉野美術秀作展事業	〈社会教育課〉	A	42
市民コンサート開催事業	〈社会教育課〉	A	42
文化・スポーツ顕彰事業	〈社会教育課〉	А	43
芸術文化振興助成事業	〈社会教育課〉	А	43
短歌「西行賞」表彰事業	〈社会教育課〉	А	44
文化財保護・整備事業	〈社会教育課〉	А	44
トップアーティス招へい事業	〈社会教育課〉	В	45

# 平成29年度主要事業の点検・評価

# I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

#### 【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
地域子ども楽級 推進事業 (県) (社会教育課)	放課後や選を地域力がある。 また 一年 で、 対して、 がいまた で、 がいまた がいまた がいまた がいまた がいまた がいまた がいまた がいまた	A	《 学でと、もをに 加、 おからしと、もをにという。 参がて関が学りという。 で活性や愛 がってにきゃたのか で活性や愛 がってにきゃたのか で活性や愛 がってにきゃたのか でにきゃたのか でにきゃたのか でにきゃたのか でにきゃたのか でにきゃなと ででと、にっま童力 地ま、環で と14楽 1,268回人 1,268回人 1,268回人 2年参協 25,176人会回人 244は 3,407人 25世間が 3,407人 3とで 3,407人 3とで 3,407人 3とで 3,407人 3とで 3,407人 3とで 3人の	7, 837

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
家庭教育支援事業(県)	「親学」啓発パンフレット など子育でに関する学習情報 を提供することにより、家 を提供することを強化する。 また、保育園・認定こども 園・砂全小・の機とした はおいて、参観日等の機とした 利用会やレークショッの健全を 利用会など、 で が で 、 の を り、 に おい に 、 保護者を対象とした 関値するなど、 は と を と し 、 と に 関 が と し 、 に 、 は 、 に 、 と し 、 と し 、 と し 、 と し 、 と し 、 と し 、 と と り と り と り と り と り と り と り と り と り	A	《成果》 保護者に向けて、子どもの成長段階に応じた家庭の役割を認識する講演会やワークショップや交流会を46回開催。参加人数1,752人。アンケートでは、参加して良かった。今後も参加したい。との感想が大半を占めている。 《課題》 就労等で多忙な保護者への家庭の大切さを意識できる機会の確保、また地域ぐるみで家庭教育支援を行うための人材確保が課題である。	415
地域学校協働本部事業(県)	地域全体で学校教育を支援 するため、このでは、 で学校を地域とのでででは、 で中心とした学校と地域とのででは、 で中心とした学校と地域とのでは、 で中心を構築する。 (田井小・田田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	В	≪成果≫ 平成29年度には、2幼稚園、14小学校、1中学校で事業を実施した。 年間で学校で事業に地子とでで事業に地子とで学校園に、学校を通じるが関わり、学校を多いでででである。 で学力のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	1,779

事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
玉野市子ども会 連絡協議会研修 事業 〈社会教育課〉		В	≪成果≫ 平成29年度は、子ども会員57人の登録があり、各単位子ども会での活動の他、合同での体験活動等も行った。これにより、リーダーとしての自覚や集団でのルールの体得を図ることができた。 ≪課題≫ 単位子ども会の減少に伴う、協議会加盟子ども会の減少という課題がある。広報活動の工夫や、研修内容の充実を図るとともに、他市町との情報交換や連携について検討する。	70
成人式開催事業	新成人を招き、祝賀交歓の うちに大人としての自覚と市 民意識を高め、 社会に貢献し 力強く生きていくよう激励す る。	В	≪成果≫ 平成30年は新成人433人が参加した。(参加66.9%)新成人が企企 営とかる実行委員会形式で行どで 第2部といるとで、表としてがあるとでででででいる。として、 では、変別の自覚として、は、のして、といるとで、は、のして、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、といて、とい	1,637

事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
たまの地域人づくり大学	地域活動に役立つ知識・技術等を習得するための各種講座を実施し、地域において活躍できる人材を育成する。	A	≪成果≫ 平成22年度に開講し、8年目とな 海上、22年度に開講し、8年目とな 海上、22年度に開講座、21 海上、10 東上では9年度は9講座と 実施した。特にはでののは はでののは はででのもない。 でがまました。でがある。でがある。でがある。でがありた。でがありた。でがありた。でがありた。でがありた。でがある。でがある。でがある。でがいた回でではしていりである。というでは、というではながった。というではながったがないがある。というでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	1, 256
児童館管理運営 事業 〈社会教育課〉	児童に健全な遊びとその場 を提供して、心身の健康を増 進し情操を豊かにする。また 「児童館だより」の発行など 、情報発信を行う。	В	≪成果≫ 乳幼児から中学生までを対象に、 遊びや体験学習の拠点として様々な イベントを開催。来館者数13,740 人。ボランティア大人147人、子ど も135人。エコキャップ回収運動や 児童館大掃除、児童館まつりの準備 や手伝い等を行った。 ≪課題≫ 遊びを通じての子どもの育成、子 育て家庭支援地域活動の促進などの 事業内容の充実が課題である。	8, 228

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
放課後児童クラブ管理運営事業 〈社会教育課〉	労働等により保護者が昼間 家庭にいない児童に対し、授 業終了後に児童厚生施設等を 利用して、適切な遊び及び生 活の場を与え、子どもの状況 や発達段階を踏まえながら、 その健全な育成を図る。		≪成果≫ 田井・築港・宇野・玉・玉原・日 比・第二日比・荘内・八浜・大崎・ 後閑・胸上・鉾立の14小学校区17ク ラブを開設している。保護者からの 要望を受け、長期休業中の開所時間 を8時30分から8時に試験的に変更 した。 ・在籍児童延べ人数 7,684人 ≪課題≫ 登録児童数は増加傾向にある。ク ラブの大規模化と施設の老朽化が課 題である。	140, 636

#### 【区分】多様な保育サービスの提供

事 業 名	事業	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
病児保育事業の実施 (就学前教育課)	<ul><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下行</li><li>下</li></ul>	病気の回復期 いものの入院		《成果》 玉野等のにない。 ま説が病合になりののはででででででででででででででででででででででででででででででででででで	7, 021

事	業	名		事	業	内	容	評価	成	果	と	課	題	決算額 (千円)
子の子の人の子の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人			育い時メ「り」「り」「	幼育付マで児	園にるぎ接館で関。ごせだ	園すま/2よ庭るたをンり	一開相、活タ」言、、放談子用一等る。をを育しだの。		の育健で「卜座催るの」の報に「<平平」<平平」<平平」≪「るる求子でやき子(、し情来ま保を子」園成成「イ成成」メ成成「課イたよめますのかた育いク、報場た護メ育」庭2928 べ2928 1222 題べめうらたて不な。てつり親交者、者一て「開年年」ン年年 ル年年 ≫ン、、れ、支安育 支しス子換を毎等ル支 放度度 卜度度 マ度度 ト多調るメ	援感ち 援ょマ間が得週を配援 来 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	拠を支 ンあ会交え。曜象す図 組7644 組4853 ン8271 容イ研 マ提点緩援 タそな流る 日にるる 数 8484 数 8474 登747 がべ究 ガ供	施和す 一ぼどや場 に、ここ <11 >11 録、	数 > 化 が が で 受 指 し 、 で が 心 信 に が 心 信 に か に が 心 信 に か に が 心 信 に か か か か か か か か か か か か か か か か か か	31, 095

事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
	冠婚葬祭・仕事などの 野急 おらかじめ外)の一時預 かり事業を実施する。 また、認知でで、 またび、幼稚園で、 またび、幼稚園で、 の一時預 の一時預 の。		≪ (「国家とと では、	20, 769

# Ⅱ. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進【区分】心と体の育成

-t- 300 t-	.1.			決算額
事業名		評価	成果と課題	(千円)
スクールカウンセラー配置事業 (国・県・市)	全小中学校及び市立高等学校へスクールカウンセラーを、全保育園・こども園・ことも園には保育カウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者び教職員の支援を行う。 国事業による配置:中学校7村県事業による配置:就学前全園市事業による配置:就学前全園が学校11村高校2村	E A	《成果》 スクールカウンセラーを積極的に活力ので、生徒及び保護者のカウンセラーをでで、学校のカウンを通して、学校の力で等を通して、学校のので、学校のので、学校のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	1, 803
スクールカウンセラー連絡協議会	適応指導教室・教育支援室・スクールカウンセラー及び関係機関の連携を図り、市内の教育相談体制の充実を目指す。	: ]	《成果》 市内各校に派遣しているスクール カウンセラーと関係機関が集まり、 教育相談体制の充実についての有意 義な情報共有を図り、効果的な問題 解決の方向性や日頃のスクールカウンセラー業務の円滑な運営に成果が あった。 《課題》 性同一性障害や被虐待児へのカウンセリングの在り方等、専門性を高める協議が一層必要である。	
こども未来づくりネットワーク連絡協議会	適応指導教室・教育支援室・スクールカウンセラー等を学校が情報共有による連携を図るとともに、研修会等を行い、いじめや不登校・虐待等の諸問題の解決に向けて、相談ネットワーク関係者の資質の向上を図る。		《成果》 適応指導教室や教育支援室からの 情報提供を行うと共に、各校の教育 相談担当者が情報共有を図ること で、中学校区における教育相談の充 実が図られた。 また、不登校や引きこもりに対す る講演会を行うことで、校内体制を 整え、適切な対応を行っていく意識 づくりができた。 《課題》 今日的生徒指導課題に一層対応す るため、性同一性障害や虐待等の専 門研修を充実させる必要がある。	

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
チャレンジワーク推進事業 (県・市)	キャリア教育推進の中で中学生の地域における職場体験活動の充実を図り、望ましい職業観や勤労観を育て、自分の将来に夢を持ちながら、主体的に進路選択や決定ができる力を育成する。		《成果》 地域の各事業所との連携により、 有意義な職場体験活動が実施でき、 生徒が自分の夢を持ち、主体的に進 路を考えるきっかけづくりができた。 また新しい試みとして、中学生が 小学校へ赴き、体験発表会をするな ど、キャリア教育の取組が発展した。 《課題》 職場体験活動の内容の充実を各事	353
〈学校教育課〉			業所に依頼していく必要がある。	
生徒指導体制の 充実 〈学校教育課〉	特別支援教育の視点に立 ち、幼児期からの継続的の継続自 連手である教育である教育である教育である教育である教育である教育である教育である教育		《成果》 教育支援体制の推進により、各校の課題のある児童生徒のためのケース会等が活性化した。 教育支援体制の生徒指導を受換や中学校の生徒指導主接不動でで、情報をでで、情報をでで、情報を表して、 教育支援教育に立ることをで、情報を表して、 を主になる。 生徒指導支援が図られた。 中学校の連携が進んでいるで学習で、 中学校のできている。 《課題》 小った対応の大力でが必要なる事業がのできる。 《課題》 小った対がのいるでは、 での特別支援教育の視点に 立った対ががのいるでは、 での特別支援教育の視点に 立った対ががのいるでは、 でのおり、 でのおり、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でのもいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 でいる。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	
適応指導教室運営事業 〈学校教育課〉	不登校児童生徒に対し、教社の会体験等の集団活動、自然通団では、事を削い、を対して、自然を対して、自発性や社会性、学校での適応力等を育て、学生での適応を支援する。小学生と、の適応を支援を行う。		《成果》 学習指導の充実や所属校との連携 等により、小学生7名、中学生14名 が通室し、そのうち中学生8名、小 学生2名が学校復帰等を果たした。 卒業生は小学校卒業生5名のうち、公 立全日制に2名、定時制に1名、通 信制に2名が進学先を確保した。 また、体験活動を充実させることで 集団適応力の育成に取り組んだ。 《課題》 発達障害のある児童生徒の通室割 合が増加しており、個別指導の一層 の充実が必要となっている。	9, 078

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
教育支援室運営事業 〈学校教育課〉	玉野市教育サポートセンタ 一内の教育支援室はおととはると 個別の相談を受けると体育 個別の相談を受けると 大学校支援訪問を 学校を連携に の構築や学校を 選店 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	A	《成果》 相談件数180件、相談のべ件数 1,874件実施し、学校における生徒指 導上の諸問題解決の支援にあたっ た。ケース会や訪問相談等も増えて きており、各校・園からも、支援が 有効であったという意見が寄せられ た。 《課題》 相談ニーズは年々高まっているも のの、人員増は困難なため、運営の 効率化を図る必要がある。	4, 123
教育サポートセンター機能強化調査研究事業(県)	教育支援室に臨床心理士を 増員し、訪問支援型教育相談 体制を構築するとともに、訪 問支援等が必要な適応指導教 室在籍児童生徒への働きかけ を行って自発的な通室へ繋 る等の機能強化を推進する。		《成果》 訪問支援型の教育相談を実施する中で小中学生だけでなく引きこもり者の支援事例にも取り組み、市内のサポート体制の充実に資することができた。また、各種体験型ワークショップを開催して不登校や引きこもり者の居場所づくりにも取り組んだ。 《課題》 引きこもり者の支援事例を開拓し、より一層の関係機関との連携強化を図る必要がある。	2, 377
小学校不登校对 策実践研究事業 (県)	市内4小学校に登校支援員を配置して、不登校に対応の組織的な対応力向に、別室をといるとともに、別室をでの初期段階になり、不登校の初期段階を関係を受ける。のでは、不登校のでは、不登校のでは、不登校のでは、ででは、ででは、でででは、できないが、できないいいいがいいいいいがいいいいいいがいいいいいいいいいいいいいいいいいいい		《成果》 登校支援員を配置した小学校におが可能とないでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	3, 203

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
夢を育む!たまのつ子育成事業 (国)	キャリア教育の充実のための の研究を全小中学校区一貫教育のを全小中学校区一貫教育の をおったがでする。 一世学校区を重点推進する。 一世学校区を重点推進する。 一世ができませい。 一世ができます。 一世ができまます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができます。 一世ができまます。 一世ができまする。 一世ができますなななななななななななななななななななななななななななななななななななな		《成果》 荘内中学校区では企業人との交流活動でからいかでは企業人との交流では企業人との交流では企業人との交流では企業人との交流であると、の特色ないの特色などの特色などの特色などのではないであるとではないであるとではないではないであるとではではないであるとではでいます。 とを整理しておりではないでは、あり、はないでは、かまり、ないでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、ないでは、はいいではいいで	819
アレルギーメール マガジンの配信 〈学校給食センター〉	給食に含まれるアレルギー 原因食品をメールマガジンにより保護者へ情報発信し、食 物アレルギーに関する情報の 提供に努める。		《成果》 メールマガジンの配信希望登録数は146件と少しずつ増加しており、 登録者のニーズにあう内容を配信できた。 《課題》 今後もメール配信サービスへの登録を啓発していく必要がある。	_
学校における食育の推進 〈学校教育課〉	子どもたちの食に関する適切な判断力・実践力を養い、 生涯にわたって健全な食生活 を実現し、心身の健康の増進 と豊かな人間形成を行う。ま た、食物アレルギー対応の手 引きに基づいた校内管理体制 の充実を図る。	В	《成果》 食育推進検討委員会を年4回開催 し、給食指導の在り方や食育の取 組、アレルギー対応の体制等につい て研修を行うとともに、献立案について審議することで、児童生徒の健 康増進と食への関心を高めた。 《課題》 より効果的な指導に取り組むた め、教科横断的な食育推進計画等の 一層の充実が必要である。	_

#### 【区分】学力向上の推進

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
35人学級の実施 〈学校教育課〉	小学校第3学年から第6学年において、本市独自に教員を雇用して35人学級を実施し、基本的生活習慣や学習規律・学習習慣の定着を図る。(玉原小・荘内小)	A	《成果》 35人学級の実施により、きめ細やかな指導を展開し、小学校における基本的生活習慣や学習規律、学習習慣の定着を図ることができた。学年が進むにつれ、国・県の学力学習状況踏査の結果も向上している。 《課題》 講師不足の中で優秀な講師を確保していくことが困難である。	11, 138
小学校学力・人 間力育成事業 〈学校教育課〉	小学校第3学年以上の全学年において、学力に課題があり、習熟度別少人数指導等の実施が成果を上げる学級に市費による非常勤講師を配置して、基礎学力の定着や落ち着いた学習環境づくりを推進し、人間力の育成を図る。	A	《成果》 各配置クラスの課題に応じて習熟 度別少人数指導や取り出し指導等を 行うことで、子どもたちの実態に即 したきめ細やかな指導に取り組み、 基礎基本の定着に成果があった。 《課題》 学級の状況に応じた指導法の工夫 を行えたが、習熟度別指導について は改善の余地がある。	3, 932
中学校学力・人 間力育成事業 〈学校教育課〉	中学校に少人数指導やTT 指導、個別指導等を実施する ため、市費による非常勤講師 を配置し、生徒の学力向上や 落ち着いた学習環境づくりを 推進し、人間力の育成を図 る。	A	《成果》 少人数指導等の指導法の工夫により、生徒の実態に応じたきめ細やかな指導を実施することができ、落ち着いた学習環境の確保等に成果があった。  《課題》 生徒指導上の成果はあるが、少人数指導の一層の充実により学力向上の数値的成果は一層伸びるのではないかと思われる。	4, 023

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
グローバル人材育成事業 〈学校教育課〉	中学校の英語教員に学区内 の小学校へ兼務をかけ、週1 回6年生の外国語活動の英語に対する関連、関心を高め、育成の 対する興味関心を高め、育成の 当点とともで、なが自己を がする。 またした。 は世で、外国語指導助手(A した。 を実施したがら、 は世のの を実施したがら、 はいる教育活動の生き、 英語を学ばし、 が外国語活動・ を実施を学校の のの 教育及び外国語活動・ 教育及び外国語活動・ 教育及び外国語活動・ 教育及び外国語活動・ 教育及び外国語活動・ 解教育を推進する。	Α	《成果》 中学校の英語科教諭を中学校区内の小学校5・6年生の外国語活動の支援に派遣したことで外国語活動の充実が図られた。また、児童の様々な課題が把握でき、中学校区連携の課題や生徒指導の望ましい方向性の検討等、小中連携の充実に成果があった。 小学校の外国語活動及び中・高等学校の英語授業にALTを派遣し、各校のプランニングシートに基づいた質の高い指導を行い、生きた英語に触れることで、児童生徒の英語への関心を高めるとともに英語力育成に成果があった。  《課題》 小学校外国語活動等が活性化する中で、派遣回数を増やしたいが財政上困難である。	17, 128
中学校基礎学力育成支援事業 〈学校教育課〉	学習支援を必要とする生徒 に放課後の個別指導や補充学 習等を行い、基礎学力の定着 等を図る。	A	《成果》 基礎学力の定着に課題のある生徒に対し、放課後及び長期休業中に個別指導や補充学習に取り組むことで、基礎学力の定着や学習意欲の向上に資する事ができた。 《課題》 人数が多い場合、きめ細やかな対応が困難となる。	522
たまのっ子算数 プリント作成と 活用 〈学校教育課〉	小学校第3学年から第6学年までの算数の基礎計算や図形などの子どもがつまずきやすい課題を身に付けることができるように、自学・自習プリントを作成し、各校において活用できるようにする。		《成果》     小学校の教科書採択に伴い、新しい教科書に対応した改訂版のプリントを作成して全小学校に配付した。     各校では朝学習や放課後の補充学習等に活用し、既習事項を効果的に学び直すことができた。     《課題》     学校により活用頻度に差があるため、一層呼びかけをしていく必要がある。	_

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
学力向上プラン 作成と実践 〈学校教育課〉	全国・岡山県学力・学習状況調査等を用いて子どもたちの実態を的確に把握し、各校において学力向上プランを作成するとともに、作成したプランに沿って、継続的に様のコンに沿を推進し学力向上を図る。		《成果》 各校が、作成した学力向上プランに基づき学力向上のための計画的・継続的な取り組みを行い、授業改善や補充学習、家庭学習への啓発等の多角的な学力向上の取組の改善を図ることができた。 《課題》 学力向上のための取組は充実し、落ち着いた学習環境は実現したものの、学力状況調査での数値には、学校間格差等の課題があり、今後さらに取組内容の検討が必要である。	
小学校・中学校 研究指定事業 〈学校教育課〉	教員の資質を向上し、授業力を高めるため、研究校を指定して指導方法や教材教具等の研究開発や校内指導体制の整備を進め、市内全体に研究成果を広める。(第二日比小・後閑小・東児中)		《成果》 各校園において、子どもたちの実態に合わせて研究に取り組み、授業公開や研究協議を通して、その成果を市内の教員に広めることができ、本市教育の充実に成果を上げた。 東児中、後閑小では道徳の教科化に対応していくため、考え、議論する道徳授業についての研究に取り組み、市内に授業モデルを示した。 二日比小においても道徳の実践研究を進めている。 《課題》 予算が少ないため、有名な講師を学校へ招聘することができない。	

#### 【区分】特別支援教育の充実

事	業	名	内	容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
事業		<b>員配置</b> <b>育課</b> 〉	障害や虐待、 課題のある幼児 籍する幼稚園・/ 8名の生活支援 生活と学習の む。	小・中学校に4	Α	《成果》 発達障害等様々な課題のある幼児・児童・生徒に対して支援員を配置することで、生活や学習の場面において、きめ細やかな支援を実施することができた。 《課題》 児童生徒の課題の多様化・重複化が進んでおり、多様な支援ニーズに対応できる事業改善を行ったが、各課題に応じた支援員の効果的な活用のための学校のコーディネート力の向上が必要である。	35, 233

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
特別支援教育事業 〈学校教育課〉	特別支援教育推進のための 講師を招聘して研修会を開催 したり、先進地視察等を実施 して教員の資質向上を図る。 また、通常学級における取 り出し指導や重篤な障害のあ る児童生徒が在籍している特 別支援学級へ非常勤講師を配 置して効果的な支援を行う。		《成果》 市教育委員会主催の各種研修会の 充実に取り組み、市内全体の特別支 援教育の一層の充実を図った。 《課題》 課員の多忙化により、先進地視察 等にあまり取り組むことができなか った。	3, 891
特別支援教育ネットワーク連絡協議会	障害のある幼児・児童生徒の社会的自立を目指して、早期からの適切な支援を行うとともに、中学校区を単位とした地域支援ネットワーク体制の充実を図る。	A	《成果》 各校園で継続的な支援のための「個別の支援ファイル」を作成するとともに、各中学校区で合同研修会を設けたり、支援の充実のための情報共有に取り組み、体制整備に資することができた。 《課題》 県の広域人事交流の方針により、教員の市外への人事異動が加速化するために、大がきもの、大が替わっても継続できる中学校区組織とするために、適切な就学指導や継続的な支援のための連携等をさらに充実させる必要がある。	_
特別支援教育サポートチームの派遣	障害のある幼児・児童生徒に対して障害の特性に応じた適切な指導を行うことがでするよう、トチームを編成し、各校・園に対する支援教育に係る様が、特別支援教育に係る様が、特別支援教育に係る様がは課題の解決を図る。 また、特別支援教育の充実を図る。 また、特別支援教育の充実を図る。		《成果》 学校園からの要請に応じ、専門家 チームが支援訪問を行い、ケース会 議への助言や課題分析等を通して特 別支援教育に係る課題解決を図った。 《課題》 大きな課題が減少していることも あるが、若干支援訪問回数が減少し ている。就学前園との連携を一層深 めるとともに、チーム派遣の活性化 を進めたい。	_

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
授業のユニバーサルデザインの推進 〈学校教育課〉	特別支援教育の視点に立った授業改善を推進し、全ての子どもが「わかる・できる」を実感できる授業の構築に取り組む。	В	《成果》 学力向上研修会や、教育支援研修会等の各種研修会において、授業での各種研修会においてができるにおいてができる。 善の子ができる」ができるとも問うされてできるとも問うされば、指導では、大きででは、大きででは、大きででは、大きででは、大きでででは、大きででは、大きででは、大きででは、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで	
特別支援教育研究指定事業 〈学校教育課〉	中学校区での適切な支援の 継続や通常学級での支援の在 り方、特別支援学級での指導 充実等について等の総合的な 研究を指定し、市内全体の特 別支援教育充実を図る。 (宇野中学校区・東児中学校区)	В	《成果》 これまでの研究推進形態を中学校 区ごとに変更したため、発表会は開催せず、該当中学校区での研究推進 に留めた。 《課題》 各中学校区で総合的に研究に取り 組むため、協議等の効率化を図らな ければ教員の負担増となる。	_

#### 【区分】保育士・教員等の指導力向上

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
教育研修所事業 〈学校教育課〉	教職員の資質向上のため、 幼・小・中の教員からなる教科 ・領域別の28部会を設け、指 導の在り方に対する研究や調 査を行う。	В	《成果》 各部会において、外部講師を招聘するなどして、授業研修の充実を図り、授業力向上等の様々な教育課題について研修に取り組んだ。 《課題》 教職員の負担軽減及び資質向上のため、さらに効果的な研修の取組を工夫する必要がある。	79

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
保育協議会研修会の実施	保育士等の職種別に専門的な研修を実施し、保育に必要な知識・技能の習得を図り、職員の資質向上を図る。	A	《成果》 玉野市保育協議会に委託して、様々な研修を実施した。 平成 29 年度は、以下の研修を実施した。 平成 29 年度は、以下の研修を実施し、保育園の運営に必要な多種多様な分野でのかることができた。 ・保育者のプログランシーンできた。 ・保育者のアップに努めること保護者支援 ・夏秋他、花壇の管理について、シーシーのでは、大変で使える楽しいマジック・乳児保育について、保育で使える楽しいで考える・食物アレルギー、食品衛生ミニ講座・保育士の資質向上を図る・保育所保育指針の改定について他 《課題》	100
〈就学前教育課〉			保育所の運営上、ローテーション により勤務が割り振られているため、研修日に勤務が割り振られてい ると、研修参加を希望しても参加で きない場合がある。	
各種研修会の実施	幼・小・中・高等学校の中 堅教員を対象に指導力や企画 運営力を育成するための中堅 教員研修会を実施する。その 他にも、若手教員指導力向上	A	《成果》 市教委が主催し、様々な研修会を 実施して、教職員の資質向上に努め た。玉野の教育施策の周知徹底に成 果があった。	_
〈学校教育課〉	研修会、教育課程研修会、教育支援研修会等を実施し、教職員の指導力向上を図る。		《課題》 教職員の負担軽減のため、研修会 の精選を進めていく必要がある。	

#### 【区分】教育環境の整備

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
学校事務の共同 実施 〈学校教育課〉	学校事務の共同実施により、情報交換や相互支援を行い、より一層正確で質の高い学校事務の実施を推進する。	A	《成果》 共同実施協議会や各共同実施グループの定例会の充実により運営や取り組み方にで充実を図ることができた。 「学校運営への積極的な参画」を研究で、東備とで、東備財務ではでもで、東側野のではでで、東が出まりで、東側野のではでありますが、選題》では、大がである。 「学校運営への行きをで、東側野ので、東側野ので、東側野のでは、東側野ののでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	
中学校区一貫教 育の充実 〈学校教育課〉	中学校区内の小・中学校下の小・中学校区内の小・中学校区内の小・学力のり、学力のり、学力のり、学力ののが、学問のでは、学校の一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、	A	《成果》 中学校区内の小・中学校の教員が相互に授業参観し、共同で踏まえた 発達段階を踏まえた 系統的な学習指導等に心得に起むとと行動 連携をで変とでがらいる。 は、中学校区のりながある。 をできまして、育成する体制を整備できまして、 がある。 また、、園小接続プログラムの作成 も進み、地域のている。 、は進み、地域のしている。 、は選別 今後、生徒指導・特別支援教育上の は接続や学いて連携をの一層の を図りなどのででする。 、は選別 会後、生徒指導・特別支援教育上の は接続や学いて連携をの一層の を図っている。。	

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
ものづくり人材 育成事業 〈学校教育課〉	玉野商業高校に機械科を新設するため、既存の教室を機械科を新設するため、既存の教室を修を行うとともに、機械科の実習授業に必要な設備、機具等を整備する。 その他、校名を「玉野商工高等学校」に変更することに伴う備品等の整備や施設修繕を実施する。	A	《成果》 機械科の実習に必要な旋盤やフライス盤、帯鋸盤等の設備、機具を整備するとともに、校名変更で必要となった看板や校旗等を購入した。 《課題》 今後も機械科全学年が揃うまで、必要となる機具等の整備が必要となる。	43, 501
	玉野商業高校に工業科教員を1名配置し、機械科を新設するための新たなカリキュラムの作成や地元企業との調整等を行う。	A	《成果》 地元企業の施設を活用した実習等 の機械科の特色あるカリキュラムが 作成されるとともに、協力企業との 連携体制が構築された。 その他、機械科運営のための様々 な準備が整い、4月に無事開設され た。  《課題》 今後も、協力企業を増やし、多様 な教育活動を充実させて、機械科の 魅力づくりを推進していく必要があ る。	8, 357

#### 【区分】安全・安心の確保

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
不審者情報メールマガジンの配信	不審者情報を迅速に学校や 幼稚園関係者・保護者・市民 等へ配信し、情報を共有する ことで幼児・児童生徒の安全 確保に努める。	_	《成果》 平成29度は、学校からのこちらが配信すべき不審者遭遇事案報告がなかったため、メール配信は0通であった。  《課題》 警察が発信する「ももくん・ももかちゃん安心メール」があるため、事業の廃止を検討する。	_
地域パトロール隊 〈学校教育課〉	小学校を単位とする地域住 民や関係機関のボランティア によるパトロール隊の協力を 得て、子どもたちの安全の確 保を図る。	A	《成果》 小学生の登下校時の安全を守るため、各小学校区において老人会やコミュニティの協力を得て子どもたちの安全確保を図ることができた。 登下校時の不審者遭遇等の事案はなかった。  《課題》 一斉下校が原則となるため、放課後の学習指導や個別支援の実施が困難である。	

#### 【区分】環境教育の推進

事	業	名	内	容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
環境教	育推证	進事業	電気使用料に標額を設定し、 きた校・園に対算措置する消耗 教育推進の目的 購入のために配	けして、別途予 £品費を、環境 かにかなう物品		《成果》 平成29年度は約4割の学校園が目標値を達成し、節電によるコスト削減及び省エネ意識の向上につながった。(うち就学前園は、7園中4園達成。決算23千円)	399
	育総系 :前教	务課〉 育課〉				《課題》 今後は達成率の向上を図るととも に、達成した校園においても更なる 節電に努めていきたい。	

#### 【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
競技スポーツ振興事業	競技力の向上及び競技スポーツの推進を図るため、市立の中・高等学校の運動部活動に所属し、県内予選会等を経て中国大会以上の規模の大会に出場する団体・個人に対して、激励会を開催し、激励金を支給する。		《成果》 平成29年度は、各種競技の中国・ 全国大会に出場した23名の生徒に激 励金を支給した。 《課題》 市内の学校に対して申請漏れがな いよう引き続き広報していく必要が ある。	155
	玉野市立学校において、文 化・芸術活動等に積極的に取 り組む個人・団体の育成を図る ため、祝い金を支給する。		《成果》 平成29年度は2件の激励会を開催 した。参加した生徒の活動意欲を高 め、学校における文化芸術活動の活 性化を図ることができた。対象の商 業高校からは次への意欲が高まると いう評価を得た。 《課題》 市内の学校に対して申請漏れがな いよう引き続き広報していく必要が ある。	50

#### 【区分】家庭・地域との連携

事	業	名	内	容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
教育委	員系	恳談会	地域住民の多 保護者の教育に をより的確に把 として、教育委 等とがテーマに 行い、教育行政	2握する一方法 員と関係団体 1沿った懇談を		《成果》 「"たくましく まなんで のびる たまのっ子"を育むために」を共通 テーマに3回実施。市立学校教員、 教頭、図書館職員(指定管理)な ど、延べ12人から各現場の生の声を 聞き、特別支援教育の充実、働きか た改革などの施策につなげた。	
〈教育	下総系	务課〉				《課題》 様々な立場から多角的な意見を伺 えるよう、引き続き現場の声や意見 の掌握に努めたい。	

事 業 名	内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
玉野商業高等学 校 学校ボランテ ィア活性化事業	生徒が学校の教育活動で身 につけたノウハウを地域や地 元住民に還元することで、本 市の活性化やまちおこしに役 立てる。	A	《成果》 地域でのボランティア活動に積極的に取り組み、学校の信頼を高めるとともに、地域のまちおこしに貢献できた。 また、「キッズビジネスタウンたまの」を開催し、小学生の職業観等の育成を図ることができた。	371
〈学校教育課〉			《課題》 小学校の学校行事との関連で開催 時期を決定することが困難であっ た。 学校規模が限られているため、希 望する小学生全員を受け入れること が困難である。	
園と家庭のかけ はし事業 〈就学前教育課〉	市内の保育園・認定こども 園・幼稚園に通う3歳児から 5歳児の幼児がいる家庭に 「かけはしノート」を配布 し、幼児の成長の姿を記録し て園と家庭が信頼関係を構築 し、協力して子育てに取り組 む。	A	《成果》 保育者の幼児理解を推進し、保護者との連携を深める成果があり、保護者の子育てへの支援に効果的であった。 《課題》 教員の負担は大きいため、事業の改善が必要である。	
土曜授業の実施	市内の全小中学校において 年間2回以上、土曜日に授業 参観や学校行事等を実施し、 保護者や地域に対して学校教 育活動の理解を図り、開かれ た学校づくりを推進する。		《成果》 特色ある教育活動を計画的に実施することで、保護者や地域住民と児童生徒がともに学ぶ場を確保できるとともに、学校の取組を多くの保護者や地域の方々に効果的に紹介することができ、理解を図る事ができた。 また、授業参観や懇談会、講演会等を土曜日に実施することで、全体的に参加者が増えた。特に父親の参加が増加した。	_
〈学校教育課〉			《課題》 少年団や地域の行事、中学校区内 の他の学校等との日程調整が困難で ある。	

# Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

# 【区分】生涯学習の推進

事 業 名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
生涯学習人材バンク	文化・芸術・レクリエーション活動等において、優れた 知識・技能を有している人を 指導者として登録してもら		《成果》 市民の学習活動を支援することで 生涯学習活動を推進している。	
〈社会教育課〉	い、市民の多様な学習活動を 支援するとともに、人材の有効な活用を図る。	В	《課題》 講師登録内容の充実を図るととも に、市民の学習ニーズに合致した体 制づくりに努める。	
生涯学習施策推 進事業	平成26年度に策定した「第2次玉野市生涯学習基本計画」に基づき、生涯学習施策を効果的に推進し、人づくり・地域づくりなどを図る。	В	《成果》 関係部署及び教育機関を含めて全 庁あげて、市民が主体的に学習活動 に取り組めるよう支援した。受講ニ ーズの把握に努め、問い合わせの多 い講座を検討及び地域コミュニティ と連携しながらの事業も充実させ、 学習意欲の向上を図った。	
〈社会教育課〉			《課題》 「まなぶ」「いかす」「つながる」 「ひろがる」の4つの方針を関連づけ つつ、来年度に向けて、見直しや実 施効果を高める改善への取組を十分 に進める必要がある。	
まちづくり出前講座	市職員や市民ボランティアが講師となり、「出前」をして講演を行い、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援する。		《成果》 市民のニーズを把握し、現代社会に合ったメニューを提供するため、毎年メニューの見直しをおこなっている。講座受講数は、27年度336件、28年度348件、29年度392件と年々増加傾向にある。	
〈社会教育課〉		A	《課題》 市民ニーズが高い、「救急」や 「防災」講座の受講数は多いが、そ うでない講座との差が大きい。広報 活動や講座提供のない課への呼びか け等により、より充実したメニュー の提供に努める。 また、他の講座事業との組み合わ せやスリム化なども検討していく。	

# 【区分】人権教育の推進

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
人権教育推進事業 (社会教育課)	様々なし、校をには、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	В	《成果》 人権教育推進委員会、小・中学校 PTA人権教育権教育機会、就党別と 権教育権教育権教育人権教育人権教育を開展した。 管会、課題人性し、「などのとといる。 の学習研修問題人をでするした。 の学習研修のでは、している。 の学習研修のでは、ながたと、でいる。 の学習のででいました。 のでは、ながたといる。 のは、ながたといる。 では、ながたと、では、ながでのでは、ながでは、ながででのでは、ながででのでは、ながでででのでは、ながでいる。 では、ながでは、などでは、ながでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、などでは、など	142

# 【区分】青少年健全育成活動の推進

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
補導活動の推進	街頭補導・特別補導・地区 補導等に積極的に取り組み、 問題行動の把握に努め、青少 年の健全育成を図る。	A	《成果》 補導は、1年を通して計197回実施 し、育成センター職員・健全育成指 導員・教職員・PTA等延べ991人が 参加した。得た情報は学校等関係機 関に連絡し、対応した。大きな問題 はなく、青少年の健全育成とりわけ 非行の抑止力として、非行防止に成 果があったと思われる。	
〈社会教育課〉			《課題》 岡山県の少年非行率は、若干改善されたものの平成29年は全国ワースト6位で依然として全国平均を上回っている。万引き防止や自転車の鍵かけ運動などとともに補導活動の充実と非行が起こりにくい地域づくりが求められる。	
	機関誌「みちびき」を発行し、青少年の健全育成や非行防止の啓発に努める。また、小学校・中学校及び高等学校の訪問や他機関との連携を深め、実態把握と問題の解決を図る。		《成果》 「みちびき」は、毎月1,300部発行し、学校、園、警察、行政等関係団体等に配布している。「市内の補導状況」「規範意識の確立」「問題行動への対応」「スマートフォンやインターネットの適切な利用」などの記事を掲載し、健全育成に対する理解や関心を高めることができた。また、情報交換を行うことで問題点やその対応について共通理解を図ることができた。	
〈社会教育課〉			《課題》 これまでの取組を継続するととも に、今後も学校や地域と連携しなが らルールやマナーを守る機運の醸成 を図る必要性を感じている。	

事	業	名	事	業	内	容	評価	成	果	٤	課	題	決算額 (千円)
	会教育調		環境美化らびを図り、悪影響を化に努める	年健 なが ぼす	全で	青少年に	В	看見もの常動うをいて続いて有にをケ青、課環し青マ害張なな図境施タ年識 》美周年トイリスの書浄しイに付け	「紙なたの化た・配ナ」 助を取ォ等て「等りが区を。スるを」 成図りンでい	の、、分意まマな図 事り巻・犯る広目書陳識たホどつ 業たくイ罪。	- 告立店列し、」のた。 にい環ン被啓物っや等な「の啓 こっ 境タ害発	たコにが正テ発 い も一に活落ンつらしィ活 て 変ネ遭動きニて導使シを 、 しトケ継等で、活おュ行 継 、の一続	
不審者	<b>全</b> 対策		警察は連手を発達を ・経 を を を を を を を を を を の を を の を を の を の を の の の の の の の の の の の の の	<ul><li>議り</li><li>は置めなり</li><li>がかかり</li></ul>	等な取っら、	がら巡回活 )組み、安 また、地域	В	の少わのら登にての 《全「更の地年れいの録ついに 課子にこにまいで安。」難てて。り 》も難も知、」のが、 をまば場がはス替がない。」を発して、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	補安た現所る、テえ・・ちる10散録おめ導心、在と「調ッて・・がこ番底しい、	やに市47しこ査カい いとのすてて見寄内庫でどを一る ざがりるいも	守与のお定も依も。 とで、必る一りし「り着11頼順 いき」要「部	)番のいえ」 (し、確認し (次新しいも うときうに、 っここのいて	

# 【区分】スポーツの推進

事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
	市民が、いつでも、どこで も、いつまでもスポーツに携 わることのできる、生涯スポ ーツのための環境の整備を目 指す。	В	《成果》 レクレセンターで各種スポーツクラブ教室を開催することで、身近なスポーツ機会を提供しており市民のスポーツに対する理解と関心が浸透している。	_
〈社会教育課〉			財源確保など安定的したクラブ運営が課題である。	
スポーツ指導者研修会開催事業	スポーツ推進委員や体育協会指導者等の資質の向上を図り、スポーツ活動のより一層の普及・充実を図る。	В	《成果》 継続的に研修会を開催することで 指導する年代に応じた適切な指導が 行えるなどニーズに沿った指導ができる指導者の養成に寄与している。 《課題》 指導者の人材確保とスムーズな世代交代が図れるよう引き続きサポートが必要である。	
競技スポーツ推進事業 (社会教育課)	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ(部)等の育成と競技力の向上・推進を図るため激励金を支給する。	В	《成果》 社会体育における全国大会以上出場者(チーム)に対し、激励会を開催し、激励金を交付した。併せて、記者発表を行うことで、出場者の意識高揚及び競技のPRが図られた。申請件数は21件(全国大会21件)  《課題》 市公式のホームページ、フェイスブックなどSNS媒体等を活用したPRは行っているが制度の周知不足は否めず、公平性の観点から引き続き周知に務める必要がある。	545

事 業 名	事業	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
トップアスリート招へい事業	本担が出て、技のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	はに資すること 外で活躍する 導者を招へい たちにスポー	В	《成果》 3団体へ補助を実施し、合計423人が参加した。 招へいしたトップアスリートが、子どもたっの個別指導等をに、えどもたっの個別指ともを教験をに、方様情を力があるとかの選手できるの大の選手できるとができるとができるとなった。 《課題》 毎年申事業の方のではていなど積めなり、会をとなった。 《課題》 毎年申事業が必要である。 また事業が必要である。と納税を活への問題が必要である。 また事業については、今極的また、一人の問題が必要である。	1, 500
スポーツ施策推進事業 〈社会教育課〉	野市スポーツ推 づき、スポーツ 連携し、各種ス 計画的に推進す	/関係団体等と ポーツ施策を る。 ボースポーツ推 近で、各種施 )検証並びに進	А	《成果》 スポーツイベントの開催支援をはじめ、スポーツクラブ教室のメニュー充実など、計画に掲げた施策の推進・充実が図れた。また、審議会は様々なスポーツ分野の代表で構成されており、毎年の進捗状況の検証では委員から率直な意見を聴取できるため、利用者ニーズや要望を掴む良い機会となっている。 《課題》 未着手の施策については、実施手法の検討や関係団体との連携を探るなど引き続き実施に向けた調整を図る必要がある。	

【区分】地域文化の振興

【四月】地域人	1047 100 30		T	
事 業 名	事業内容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
玉野美術秀作展 事業 (社会教育課)	県展または中央展で入選した市内在住の作家の作品(洋画・日本画・書道)を展示し、市民が芸術文化に触れる機会を提供する。	A	《成果》 無美術秀作展(5/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 開催、10/23~6/4)を 中央を 機会がよれた。 中央を 機会を でいたので でので でので でので でので でので でので でので	6
市民コンサート事業	市民主体の演奏会等を実施し、市民の音楽への関心を高めるとともに、市内の音楽団体の活性化を目指して事業を実施する。	Α	《成果》 コンサート (無料 2 件、有料 1 件、入場者数延べ887人)を開催し、多場できた。 多くの市とができた。 なお有異にできた。なりによる郷土出身では昨年度実施して本演を出いる。 なお有料ではいるのでは、本海のでは、本海のでは、本海ののである。といるのでである。といるといるのでである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。といるのである。	300

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
文化・スポーツ顕彰事業	文化・スポーツの分野において優秀な成績を収めたり、 長年にわたりその普及・振興に尽くした個人または団体を 表彰し、本市の文化・スポーツ の充実・発展に資する。		《成果》 4個人(文化3個人、スポーツ1 個人)を表彰した。表彰制度は各分 野で長年活動を続けている個人、団 体にとって励みとなり、生涯学習、 生涯スポーツの推進の一助となっ た。	
〈社会教育課〉		A	(スポーツ)競技団体からの推薦者 以外で、全国大会等で優秀な成績を 収めた者が本市出身者かどうかの把 握が困難である。 (文化)表彰制度は各分野で活動を 続けている個人、団体にとって励み となっており、今後も関係団体に推 薦依頼するとともに、表彰対象とな る個人や団体の把握に努める。	153
芸術文化振興事業	市内各地に伝わる文化・芸能等の保存育成、新たな創造活動に対し、助成や支援を行う。	A	《成果》 申請のあった2団体(衣装代:袢 纏・はちまき・狂言用衣装等)にの支 ・狂言用衣装等)にの支 ・狂言用衣装等)にの支 接を行し、芸術・文化活動の 援を行し、芸術・文化活動野町 接を行った。新調したである 「玉野・佐である」である 当や常政・推進を通じた「野町の 位の一般では、大などののを という日本はといるとなるとない。 というにより、の振興につながっている。	386
(社会教育課)			《課題》 現在は再申請を可能(助成を受けてから5年間は不可)としているので、芸術文化活動を行う団体に有効に制度を活用してもらい、本市の文化振興につなげる。	

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
短歌「西行賞」表彰事業	全国から短歌を募集し、優れた作品に「西行賞」等を贈り、地域文化の創出と感性の薫る玉野の創造を図る。	A	《成果》 短歌を募集し、優れた作品に「西 行賞」(西行賞1点、優秀賞3点、 佳作6点、特別賞3点)を贈り、 野の地域文化の創出等を図った。 なお、平成26年度から市内の高校 の授業の一環として短歌の投稿にに 短歌の一環ととでも、 を選めることがの名ことが高者とで 短歌がっている。 (応募者:582人、783首) 《課題》 全国で同様の短歌募集・表彰事業 が行われており、本事業におる。 解題》 全国でおり、玉野市の観光振興 等の魅力を加えた、文化振興へつな げる必要がある。	50
文化財保護・整備事業	歴史講座等の開催や広報紙への記事掲載など文化財の周知を行い、文化財保護の意識高揚を図る。必要に応じて、市指定文化財案内板の付け替えを行う。	A	《成果》 文化財保護委員会の開催や文化財の保護委員会の開催を文化財の保護の関連など、 、企業が必にない、 、会の関連など、 、会の関連など、 、会の関連など、 、会の関連など、 、会の関連をでは、 、会のでは、 、会のでは、 、会に、 、会に、 、会に、 、会に、 、会に、 、会に、 、会に、 、会	535

事 業 名	事 業 内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
トップアーティスト招へい事業	本市の芸術文化を担う人材の育成ならびに本市芸術文化の振興に資することを目的に、国内外で活躍するアーティスト・指導者等を招へいし、広く子ども等に優れた芸術文化に接する機会を提供する。	В	《成果》 1中学校(荘内中)に補助金を交付した。生徒が興味、関心を示す事業(音楽鑑賞体験)を実施し、本物の芸術文化に触れるよい機会となった。 《課題》 本事業は、平成21年度から開始し、8年目を迎えており、事業内容の見直しを含め検討していきたい。 また、企業版ふるさと納税を活用した事業であるため、受益団体への周知方法等について協議・検討が必要である。	99

# 平成29年度 幼稚園・学校の施設整備等

主要事業	内容	決算額 (千円)
大規模改造事業	・小学校校舎大規模改修工事 後閑 校舎改修 宇野 体育館外壁等(実施設計)	40, 954
	・中学校校舎大規模改修工事 山田 外壁改修	32, 865
老朽化対策事業	<ul><li>・小学校施設整備 胸上 プール濾過機取替 字野 通級教室改修 玉原 総合遊具設置工事 田井 駐車場舗装工事 ほか</li></ul>	19, 272
	<ul><li>・中学校施設整備</li><li>荘内 テニスコート整備</li><li>宇野 配膳室床改修</li></ul>	2, 290
	・幼稚園施設整備 田井 建具改修、防水改修	3, 726
	・保育園施設整備 和田 遊具設置	2,904

# 平成29年度 社会教育施設の施設整備等

主要事業	内	決算額 (千円)
体育施設整備事業	・総合運動公園整備 多目的運動場ナイター照明球交換 テニスコート照明塗装改修	1, 958
	・総合体育館整備 誘導灯改修	1, 023

# 学識経験者による意見

## ■玉野市教育振興会 会長 三浦 康男

子どもたちを取り巻く環境が多様に変化する昨今、厳しい財政状況の中、工夫を凝らし、 多くの事業を展開していただいていることに感謝したします。

## 〇地域学校協働本部事業

学校と地域が協力して、子どもたちの健やかな成長を願って活動することは大変意義深いものであり、この取組が幼稚園、中学校など、全市に広がっていくことを期待します。

# ○たまの地域人づくり大学

私も参加したが、それぞれの地域においてどのようなことに留意すべきかなど、具体的な 講座であり、参加して良かったと感じた。参加者も多くぜひ継続してほしい事業です。

### 〇子育て支援情報の提供

保育園、幼稚園の園庭開放は、未就園児にとっても有意義なことで、昨年度は園庭開放、イベントともに来場者は減少していますが、これは幼児数の減少の影響と思われます。メールマガジン登録者は増加しおており、必要な事業と思います。

## 〇小学校不登校対策実践研究事業

働き方改革による教員の時間外勤務の削減努力などを考えると、人的配置は時宜を得たものでありがたい。今後も効果的に配置し、さらなる不登校児童の減少を図られたい。

## ○グローバル人材育成事業

国際化の広がりは学校にも及んでいる。小学校への外国語活動導入を機に、中学・高校に 配置されていた外国語指導助手が小学校へも派遣され、早期からの外国語活動が充実した。 日比小学校での「ハロー・アメリカ」を嚆矢として、外国の人とふれあいを通じ、外国語を 話せるだけでなく、外国を理解するなど全市的な国際理解に努めてほしい。

#### 〇生活支援員配置事業

小学校不登校対策実践事業と同様に、様々な分野で教員の補助や教員に代わる支援など、 充実した活動ができているように思います。今後、該当する児童だけでなく、保護者に対し ても支援できるような活動も検討していただければと思います。

# ○授業のユニバーサルデザインの推進

教育の最前線の授業について実践しており、原点を大切にした事業だと思います。子どもが「わかる・できる」を実感できることは大変重要です。授業に対する評価は、教師だけでなく子どもや保護者(参観日等での)の評価も参考にしながら、実践を進めてほしい。

#### 〇教育研修所事業

それぞれの専門分野に分かれての研修であり、一定の効果はあったと思われるが、同様の研修は他にもあり、事業そのものを再検討しても良いと思います。

# 〇中学校区一貫教育の充実

全市挙げての取組であり、中学校区の実態に合った取組は有意義と思われます。教員の校 種間交流により、小学校では中学校入学後の児童を見据え、また中学校では小学校での児童 の実態に応じた指導をすることで、子どもたちも指導の一貫性を実感すると思います、さら に、幼稚園・保育園と小学校との連携も密にしていただきたい。

#### ○ものづくり人材育成事業

学校内に実習設備を設けるところは多いが、地元企業の施設を活用した実習などは、地元への就職等にもつながり得るとてもユニークな方法だと思います。地元玉野の魅力あるものづくりを推進していくため、今後も努力をいただきたい。

#### 〇環境教育推進事業

事業の工夫により着実に成果を上げているように思います。省エネは、我慢するのではなく無駄を省くという観点から、学校のみでなく全市を挙げて取り組んでいただきたい。

## ■玉野市PTA連合会 会長 梶原 秀夫

29年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書の説明を受けまして、教育委員会に対しまして、まず感謝申し上げます。

学校教育においては、キャリア教育と学力向上を柱とする中学校区一貫教育の推進、また社会教育においては、生涯学習の場と機会の提供を充実させ、芸術、文化、スポーツの振興を図るという、強い基本方針を立て、73という膨大な事業を計画し、それが実行できるように努力されている事が分かりました。

評価もAが47、Bが25、CとDが0と、教育委員会や学校現場の努力が垣間見える、素晴らしい評価だと感じました。

重点施策の体系として、「心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実」、「心豊かでたくましく生きる人間を育てる学技教育・保育の推進」、「生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興」とありますが、今後の課題として、玉野商工高校の機械科新設によるキャリア教育の更なる充実や、王野市民会館の老朽化による閉鎖の可能性を踏まえた新しい地域文化の振興等の事業に関して、改めて精査して頂きたいと思います。

ただ、玉野市民会館の更新については、小中学校へのエアコン設置やブロック塀の改修など、児童、生徒の安心・安全を最優先に考えた場合、現在の玉野市の厳しい財政状況を勘案すれば、早期の実現は難しいであろう事は承知しています。

今後も玉野市の学校教育向上と、教育委員会の益々のご発展を祈願しています。

## ■玉野市コミュニティ協議会 会長 江田 康夫

平成29年度教育委員の事務に関する点検・評価報告を拝見し、玉野市総合計画「みんなで築くたまのプラン」に基づく市教育委員会のきめ細やかな事業実施と、詳細に振り返られている経緯が読みとれました。ご尽力に感謝いたします。

今年度の点検評価について

### I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

各事業はA評価も多く、教育委員会としても高く自己評価されています。特に地域子ども 楽級は、事業内容も充実し、おさらい会に協力する地域の方も年々増加しており、地域と良 好な協力体制が構築できているようです。しかし地域コーディネーターにつきましては、後 継者不足が課題とのことであり、今後検討が必要と考えます。

# Ⅱ. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

各区分、事業の成果は、充実した大変良い成果であることが伺えます。 このまま継続的に事業計画を進めて欲しいと思います。

区分「学力向上の推進」では、35人学級の実施を始め8つの事業を展開されており、一定の成果を挙げられているものと思われます。しかしながら、 先の全国学力テストにおいて、岡山県が全国40位以下にランクされている中で、玉野市は、岡山県の平均にも達してない学年もあるなど、取り組みをもう少し掘り起こして検討してほしいと考えます。

#### 安全・安心の確保について

学校内での安全・安心についての取り組みの記載がないのですが、各学校に設置されている、すべり台・鉄棒・登り棒・ブランコなどの遊具は、低学年の子どもたちにとって、運動神経の発育と初期の体力作りに欠かせないものと思います。これらの遊具は、定期的に点検されているのでしょうか。 玉小学校では、滑り台を撤去したままで5年近くになります。もう少し遊具の補充など、充実させていただきたいと思います。

#### Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

全体的に評価が低かったのですが、「生涯学習の推進」や「スポーツの推進」、「地域文化の振興」など、地域・学校・行政・各種団体が一体となって、生きがいに満ちた充実した環境を作るといった事業内容が多く提示されていましたので、個々の課題を検証し、今後の着実な事業実施に繋げてほしいと思います。これらの事業が、指導者の人材確保とコミュニティ作り等と共に、成長していくよう望みます。

29年度の点検・評価報告書は、たいへん丁寧にまとめられていて、教育委員会の皆さまのご苦労に感謝いたします。

各年度ごとに課題も多くありますが、 教育文化発展のため、今後も粛々と学校教育の改革・生涯学習のあり方等、時代と共に社会が大きく変化していく中にあっても、守るべきは守るという姿勢で、「みんなで築くたまのプラン」を進めて頂きたいと思います。